



長野



I O N

会員数	334-E 地区	2,593 名 (4月末現在)
	長野 LC	124 名 (5月末現在) (家族会員 53 名含む)

No.619

発行日 2019.6.1 334-E 地区
長野ライオンズクラブ
広報委員会発行

334複合地区
スローガン
(2018～2019)

「We Serve」

前向き思考で真の奉仕と大きな感動

第65回 334-E地区年次大会開催

5月12日(日)
飯田文化会館



選挙結果は予定していた候補者が、当選されました。

地区ガバナー	L. 仁科 良三
第一副地区ガバナー	L. 中村 通
第二副地区ガバナー	L. 増澤 義治

大会後半にて次期地区キャビネット構成委員予定者が紹介され、長野ライオンズクラブからL. 西條賢治とL. 西宮登喜男が登壇いたしました。大会終了後はシルクプラザに移動して晚餐会に参加し、その後長野に向かいました。

帰りのバスの中は大会が無事閉会した安堵と多少の疲れも吹き飛ばすがごとく、参加者全員が後ろのサロンの場所に集まり、とても楽しいバスの道中でした。参加された皆様お疲れ様でしたまた協力ありがとうございました。

L. 西條とL. 西宮のご活躍祈念いたします。

◎参加ライオン

L. 西條 賢治	L. 佐藤 一夫
L. 徳嵩 ことい	L. 麻場 貴子
L. 竹内 正	L. 植木 哲也
L. 下田 もも子	L. 小池 悠
L. 西宮登喜男	L. 山岸 隆久
L. 松山八重子	

(幹事 L. 松山 八重子)

2019年5月12日(日) 飯田文化会館にて開催されました。朝6時に長野駅東口より12名にてバスに乗り出発いたしました。お天気に恵まれ、五月晴れのとてもさわやか日になりました。下田会計が用意してくれた美味しい朝食を頂きながら、和やかに楽しく飯田までアツという間に到着しました。

次期地区ガバナー、次期第一・第二副地区ガバナーの選挙投票をしました。代議員総会の後各分科会に分かれて代議員会に参加し、各分科会は議案通りに可決されました。しかし、第4分科会国際関係LCIF・レオ・青少年ライオンズクエスト・薬物乱用防止・YCEの分科会から提案された「日本フィリピン合同医療奉仕活動」の次年度も継続して実施されたい議案は否決されました。地区全体では開催しないが各地区にまかせるという結果となりました。大会式典では年次大会記念事業として長野県に車椅子40台を贈呈いたしました。

2018～2019 役員退任のご挨拶

会長 L. 佐藤 一夫

皆様、一年間いろいろありがとうございました。

私が、長野ライオンズクラブ会長として就任し、還りみれば、あつというまの一年でした。

運営・事業・特別・各委員会では、建設的で活発な意見が多かったと思います。会員減少のなかで、会員増強委員会では、数多くの委員会を開き、本年度だけではなく来年度に繋がる活動をしていただきました。

また、育成・研修委員会では、新会員セミナー用としてクラブの歴史等、会員が知って於かなければいけない事など作って頂きました。事業委員会の、アクティビティでは、多くの皆様がお集まりいただき、より良い活動が出来ました。まだまだ沢山の思い出がありますが、これからのライオンズクラブの活動をより良いものとするために、『変わるのではなく、変わっていく』ことに成果があったと思います。

これも、八役、会員の皆様のおかげと、感謝申し上げます。有り難う御座いました。

第一副会長 L. 徳嵩 ことい

運営委員長という大役を務めさせていただき、何とか無事に任務を果たすことが出来たのも、佐藤会長始め役員の皆様、会員の皆様のお陰と感謝申し上げます。

担当する運営委員会は、広報、計画出席、会員会則、財務、会員増強・FWT、育成研修と多岐にわたりますが、各委員長の皆様に恵まれ支えられた一年でした。長野ライオンズクラブ独自の新入会員マニュアルの作成を始め、会員増強への取り組み等、各委員会が活発な委員会活動をする事が出来ました。運営委員会の皆様、本当にありがとうございました。

貴重な機会を頂いた年でありましたが、勉強不足を痛切に感じた一年でもありました。この経験を活かし今後の活動の参考とさせていただければ幸いです。

皆様方のご指導・ご協力を心から感謝申し上げます。退任の挨拶といたします。

第二副会長 L. 麻場 貴子

1年間皆様のご協力をいただき、第二副会長を務めさせていただきました。事業委員会はアクティビティが一番多く、会員の皆様のご協力をいただく場面が多かったと思います。

クラブの大きなアクティビティでありますチャリティーゴルフ大会は、例年になく悪天候の中ではありましたが、多くの方のご参加と会員の皆様のご協力で開催が出来、無事に事業委員会の1年間の活動を終了することができました。

1年間の任期を無事に楽しく終わらせていただくことができたことは、各委員長さんがそれぞれの委員会活動をしっかりとしていただいたこと、そして会員の皆様のご協力があればこそと感謝申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

第三副会長 L. 山岸 隆久

一年間ありがとうございました。

今年度は、委員を含む全員が「ゆっくり楽しめるような企画を実行できるように」を目標にやってきました。

八役の皆様、会員厚生・ファミリー委員会の皆様にご協力いただき、メンバー全員で楽しむことができたように思います。

お花見懇親会では、40周年記念事業で植樹された桜を披露させていただきましたが、この長野ライオンズクラブの歴史の重みを、私自身感じました。今後には生かしながら活動できたらと思います。

最後になりましたが、藤沢委員長、ご尽力いただきありがとうございました。

次年度は、メンバーとして楽しみながら参加させていただきたいと思っています。

幹事 L. 松山 八重子

1年間幹事を経験させていただきました、今無事にこの日が迎えられることに、安堵と少しばかりの充実感が入り混じっている今日

＊ 1年間ありがとうございました ＊

この頃です。会長、下田会計をはじめ、他6役の皆様の協力なくてはできないと痛感しております。心から感謝いたします。

ライオンズクラブの幹事を経験させていただき、ようやくクラブ全体のことになった気がいたします。仕事を持ちながらのライオンズ活動は時に面倒だったり、大変だと思っても正直ありましたが、年度当初の松本で行われた3役の勉強会で聞いた言葉が、まさしくライオンズの良い所だと感じました。「奉仕の先に友愛がある」私もこのクラブに入って沢山の信頼おける人達と巡り合い、同じ目的をもって活動しているうちに友愛が芽生えていると思います。長い歴史の中で継続されている各アクティビティは素晴らしいことだと感じました。1年間本当に多くの人の協力に感謝いたします。最後に事務局の山口さんもありがとうございました。

会計 L. 下田 もも子

会計を引き受けて、八役と呼ばれるメンバーとして1年間活動させていただきました。

あっと終わる！とお聞きしていましたが、私には次から次へと出てくる議題や、承認事項。先輩メンバーから頂くご意見を理解して議事録にまとめること。毎年やっているアクティビティもいざ、思い出すと??。

不安になり何度も確認して手間のかかる会計人でした。そんな中でも周りメンバーの方に支えられ、本日を迎えることができました。だから辛かった事はなく、刺激的な楽しい1年だったと私は思います。そして、もう一つ思う事は、私でも乗り切れる1年でしたので、どなたでも会計役はできる証明にもなったと思います。是非、我こそは！と思う方は近い未来にお願いします。その時は、私が今回たくさん助けていただけた分、私も何かご協力できることがあれば力になりたいと思います。

ライオンテーマ L. 小池 悠

まずもって、皆様一年間ありがとうございました。

長いような、短いような一年間でした。不安からスタートしたテーマでしたが、長野ライオンズクラブの奉仕の精神のおかげで何とか無事やり遂げる事が出来たかなと思います。

テーマは司会進行とタイムキーパーの役割です。毎回きちんと時間内に終わるか、時間が余らないか心配は付きませんでしたが、佐藤会長をはじめ、役員の方々、クラブ会員のご助力を戴きすべての例会を時間が余りすぎず、時間を過ぎることなく行うことが出来ました。

欠席は絶対にしないと決めて望んだテーマですが、欠席はしなかったものの、体調管理を怠り風邪を引き、声が出ず、副テーマのL. 宮澤渡に当日お願いするという情けない姿をさらしてしまいました。

申し訳ない気持ちと、二つ返事で快諾してくれたL. 宮澤に感謝の気持ちでいっぱいです。

厳しさの中にも優しさを感じるご助言や、アドバイスが大変うれしく、ありがたかったです。

忙しさの中にも楽しさを感じられる、充実した一年間でした。ありがとうございました。

テールツイスター L. 北澤 哲也

仕事柄、人間関係の厳しさや難しさ、人の触れ合い、温かさなどを敏感に感じてしまうような人間になってしまいましたが、この度伝統ある長野ライオンズクラブのテールツイスターを拜命致し、何とか一年間やりきれましたのは、ひとえに皆さまの無償の愛が詰まったお力添えあってのものだったと感じております。

一つのお役目は終わりますが、だからと言ってライオンズが終わるわけではありません。

尊敬するア○パ○マンのように「他人に分け与える愛」の精神で、引き続きライオンズ(ボランティア)活動に積極的に参加していきたいと思います。

1年間有難うございました。

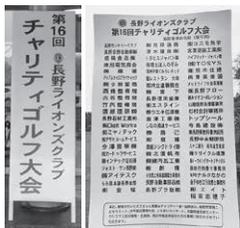
第16回

長野ライオンズクラブ チャリティゴルフ大会

2019.5.21 長野カントリークラブ

第65回 年次大会 in 富山

令和元年5月26日



今回の長野ライオンズクラブチャリティゴルフコンペは大雨の中にも関わらず多くの方にご参加、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

当日を向かえるまでの準備についても8役の皆さん、委員会メンバー、事務局、そして、ライオンズクラブメンバー皆さんのご協力が無ければ当日、大雨にも関わらずこんなに多くの方のご参加はなかったと思います。

参加人数についても全体で220名にご参加いただき成功裏に終わることが出来ました。

準備をしていく中で色々不安で心配な事ばかりでしたが色々な方々にお声がけ、ご協力をいただき無事に終わることが出来、本当に良かったです。

今回の経験を今後に繋げていけるよう精進しライオンズクラブ活躍に活かしていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

(市民委員長 L.菅沼 郁男)



複合地区スローガン

《前向き思考で真の奉仕と大きな感動》



前泊予定で長野を出発しました。お天気も快晴でスーパーアテンドのL. 清水のおかげで途中、魚津市海岸で蜃気楼を偶然にも見ることができました。改築したばかりの埋没林博物館などを経て楽しく宿に着けました。翌日、目的の年次大会へ。厳かな中で始まった式典。ライオンズの歌斉唱という事で3番まで歌いました。? 歌詞が…読めない、リズムがとりにくく声を出せず恥ずかしかったです。例会の中で時間があれば2番も歌ってみてはどうかと思いました。会員増強の今年度状況はA・D地区は入会者より退会者の方が多く苦戦していました。献眼登録者、献血量は貢献してE地区が4地区中トップでした。4地区で人数の一番少ないEがトップだったことは割合からいっても貢献度は高かったと思います。寒い中、雨の中献血呼びかけをさせていただいた事が少しでもここへ結びついた結果であればうれしいです。

他の地区のアクティビティの経過発表は有意義でやりがいのあるものも多く勉強になりました。社会の情勢が大きく変わる中でそれに寄り添える奉仕活動とは何か、自分を取り巻く生活が変わるなかで私のできることは何かを考えて前に進んでいけるようにしたいとおもいました。

(会計 L.下田 もも子)

誕生日雑学

L. 小林 信三郎

6月は日本では水無月（みなづき）或いは水1月ともいいますね。夏の初め（初夏）であり、北海道を除く各地では梅雨の時期であり降水量が多い。でも6月の花嫁とか、太陽が最高点に達する夏至があり、大地に祝福をもたらす日々があります。身近には「ドクダミ」と云う薬草があります。全草に特有な臭気があるので、嫌われていますが、我が国では民間薬として古くから利用されて来ました。県下各地の原野、庭園などの湿地に自生する多年草で、茎は赤紫色、葉は心臓形で、初夏に、白十字の苞（ほう）花びらに似ている中央に花茎のある淡黄色の清らかな花が咲く。陰干ししたものを高血圧、狭心症、動脈硬化、脳出血等の予防としてお茶代り（茶剤）として飲んでいました。悪臭は熱を加えれば分解します。悪臭を頭から避けず、白い十字の花の清礎な美しさに、好感を持って上げたいものですね。互いに信じ合うことは美しい。

環境保全河川清掃

5月25日(土)2R1Z
・2Z・3Z合同の環境保全河川清掃が、清々しい青空の下で行われました。

当日は、長野ライオンズクラブ・



8名の出席者とガールスカウトの皆さんと共にごみ拾いを始めました。ごみを拾い始め、「まあ、袋がいっぱいになる程のごみはないだろう」と思っていました、タバコの吸殻・空き缶やペットボトルなどで、すぐにゴミ袋がいっぱいになり驚きました。

6月は環境の日が制定され、環境保全に対する意識を高める活動が全国で行われています。環境について身近なところで考えてみるのも必要だと思います。

自分が捨てたゴミがその後どうなるか？ほとんどが自然にはかえられません。

大人が捨てたタバコの吸殻を、ごみ拾いで子供達が拾う。おかしな話です、悲しい気持ちにもなります。この自然豊かな長野を、美しいまま残していく為に環境に対する意識を再確認出来た活動でした。

(L. 横澤 光彦)

—— 5月定例理事会 報告 ——

2019.5.16 於：メルパルク長野

◇議事

1. 2019.7～2020.6 役員一部変更について
副テールツイスター
(旧) L. 田中 秀一 (新) L. 小澤 裕二
2. 長野ライオンズクラブ60周年検討準備委員会の立ち上げについて
委員長 L. 菊池 敏文
3. 市立長野中学校より要請の件
職場体験に向けた企業説明会
6月4日(火) 10:15～12:10
4. 次期ガバナー協力金拠出について
クラブ会員数(6月末日会員数・家族会員除く) お1人 2,000円
5. 長野ライオンズクラブチャリティーゴルフの件
開催日 5月21日(火)
現時点での状況報告 60組231人

6. その他

執行部より：

ホテル国際21の会場費値上げについて交渉をしてみたが、他クラブも了承しているので当クラブも値上げを承認。

また、ライオンズクラブへの人的貢献は見合わせる方針。

L. 西條賢治より：

委員会の副委員長が必ず次期委員長になる事にすると、思い切った人事が出来ない為、固定化しないほうが良いのではないかと
※今後審議しながら決めていきたい。

—— 以上承認 ——

(文責 L. 清水 威彦)

佐藤会長の挨拶は、昨日行われた2R1Zの第4回ガバナー諮問委員会の話題でスタートしました。会員動向やマンスリーレポート集計の内容について、また年次表彰ではアクティビティ功労賞の銅賞をはじめ5点ほど受賞が出来ると報告されました。

副幹事のL. 清水威彦より次期の委員会編成が発表され、引き続き誕生日祝いが行われました。該当のL. 小林正直、L. 対馬明美、L. 星野直信が出席され、会長よりお祝いのメッセージが贈られ、各自から個性豊かな近況報告がありました。



委員会報告は、市民委員長L. 菅沼郁男より長野LCチャリティゴルフ大会の協力依頼、環境保全委員長L. 金城京美より2R環境保全活動についてと善行寺雲上殿清掃についての2件の協力要請がありました。

最後に、L. 北澤哲也の「地方議員のお仕事」と題し会員スピーチがあり、議員の仕事を家庭に例えて説明される等、非常に分かりやすいものでした。また議員の数や給料、なぜ議員をやるの?等々の素朴な疑問にも応えていただき、L. 北澤の政治やまちづくりに対する思いも感じられる参考になるスピーチでした。

例会出席率65名中44名(出席率68%)

(広報委員 L. 徳嵩 ことい)



これからの予定

6/ 6(木) 12:30 ~	第1例会	於：ホテル国際21
6/13(木) 17:00 ~	準備理事会	於：メルパルク長野
18:00 ~	現・次期合同理事会	於： 〃
6/15(土) 6:30 ~	善光寺雲上殿清掃	於：善光寺雲上殿
6/20(木) 18:00 ~	引継ぎ例会	於：ホテル国際21
6/24(月) 16:00 ~	広報委員会	於：事務局
6/27(木) 18:00 ~	メイク・アップ	於：ホテル国際21ロビー

会長挨拶は、2日前に行われた長野LCチャリティゴルフ大会の御礼から始まった。土砂降りの雨のところ、40名を超えるメンバー出席そして協賛金の協力を賜ったことに感謝の意、そして、第65回334-E地区年次大会でのアワード受賞でアクティビティ功労賞銅賞を受賞したこと、この賞は3クラブしかもらえない貴重な賞であり、委員会およびメンバーの皆様へ謝意を述べた。ガバナー感謝状にL. 山浦悦子、その他年次表彰はレオ・青少年育成賞、献眼賞、献血賞を受賞、ガバナーズスペシャルアワードにL. 寺島大士が敬老会員賞(80歳)を受賞されたことを報告。

つづいて、第65回334-E地区年次大会選挙会の結果を報告、2019.7~2020.6 334-E地区ガバナーにL. 仁科良三(長野みすずLC) 第一副地区ガバナーにL. 中村通(佐久LC)、第二副地区ガバナーにL. 増澤義治(諏訪湖LC)を選出し、国際本部より100周年記念会員増強賞「ダイヤモンド100周年ライオン」ピンの伝達を35名のメンバーに授与される。代表でL. 今澤が100年前の出来事など話され御礼を述べた。

2019.7~2020.6役員一部変更について指名委員長L. 原田美登から副テールツイスターをL. 小澤裕二に変更したい申し出があり承認された。

委員会報告ではL. 麻場貴子事業委員長からチャリティゴルフの御礼、L. 金城京美環境保全・社会保健委員長から、5月25日(土)に行われる2R環境保全活動と、6月15日(土)の善光寺雲上殿清掃協力のお願いがあった。

幹事報告では、今週末行われる第65回334-E複合地区大会に13名参加することが報告され会員スピーチに入る。

L. 阿部満が「私の仕事」でスピーチ、3年前に法律に基づいて認定されている、遺品整理士の資格取得のため勉強、受講、試験を受け合格、一般社団法人遺品整理士認定協会に入り活動、故人のことを思いながら故人の尊厳を尊重し仕事をしている。3Kという大変な仕事だが遺族に喜ばれると報われるなど、メンバーとのQ & Aで答えながら話され、会長とL. 阿部満会員前に出て、全員でライオンズローアして締めくくられた。

例会出席率65名中37名(出席率57%)

(広報委員 L. 竹内 正)

長野 L I O N No.619

長野市南県町685-2 長野県食糧会館4F
長野ライオンズクラブ発行
TEL (026) 235-3883
FAX (026) 234-4397
会報編集者 L. 清水威彦